

「第4回アジア・太平洋水サミット」で発表しました！

4月23日（土）24日（日）熊本県熊本市熊本城ホールで開催された、アジア太平洋地域各国の首脳級や国際機関の代表などが集い、水に関する諸問題について議論するサミットに、高校3年生の海洋ごみ問題について探究をしている1班4名（堀川咲希子さん、筑紫莉里花さん、坂本ひなたさん、小倉葵さん）が参加しました。展示ブースでの発表とパネルディスカッション、天皇皇后両陛下とオンラインでのご懇談が行われました。サミットの開会式では、班で作成した動画が流れました。この班はこれまで外部団体との連携や大学との勉強会に積極的に参加し、長崎各地の海岸ビーチクリーンや中島川清掃を行ってきました。海に流れ着くごみの8割は陸から流れ出たものであることから、川のごみから海洋ごみへアプローチを行い、海洋ごみ削減に関する啓発に力を入れてきました。まずは、海洋ごみの現状を知ってもらうことで一人ひとりの行動を少しでも変えることを目標に活動をしていきます。



国際フォーラム（CIF）で米露の高校生と討論しました！

5月1日（日）に、橋本果林さん（高2-1）、小林ひよりさん（高2-3）、溝口理子さん（高2-7）の3名が、米国ミドルベリー国際大学院モンレー校ジェームズ・マーティン不拡散研究所主催のCIF（クリティカル・イシューズ・フォーラム）にオンラインで参加しました。アメリカ（5校40名）、日本（4校20名）、ロシア（2校10名）の高校生が参加し、国連軍縮部大量破壊兵器部門主任の基調講演や被団協の和田征子氏の講演を拝聴しました。また、各校が事前に作成した核問題や平和についてのプロジェクト活動（本校は被爆遺構や本校で実施している平和教育について1分動画を投稿）について意見交換しました。参加した3人は、「国が違っても核廃絶に向けた気持ちは同じだと実感しました」「ロシアのウクライナ侵攻など難しい情勢もありますが、若い私たちが連帯し、平和の大切さを発信していきたい」「核問題に関して海外の高校生が高い関心を持っていることに驚きました。今後も気軽に意見交換したいです」といった感想がありました。3名は外務省のユース非核特使として参加し、主催者から個人と学校に「優秀賞」と「修了証」をいただきました。また、本校英語講師のマット先生が進行役として活躍されました。



